

授業科目(ナンバリング)		測定評価(CC211)		担当教員	※本山 清喬		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
測定評価では、身体の形態(長育、量育、周育)や機能(体力・運動能力)を数量化・定量化する方法を学習することが主題である。また、その結果を評価・判断するためには、統計の知識も必要となる。各種測定・評価方法の目的、特徴、長短所などを学び、学校体育あるいは一般社会・企業等でどのように活用することができるのかについても学習する							④⑤⑥⑩⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	・ヒトの形態と機能を正しく計測・測定することができる。 ・測定で得られたデータの処理と基本的な統計を理解し、活用することができる。 ・各種測定・評価方法の目的、特徴、長短所、方法などの基礎知識を説明することができる。					測定実施能力 小テスト レポート課題	20% 30% 15%
情報収集、分析力	・レポート作成に必要な資料を、適切な手順を踏んで収集、吟味、解析することができる。					レポート課題	15%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	・目的に応じた測定方法を選択し、正しく評価することができる。					測定実施能力	20%
多様性理解力							
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
測定実施能力(評価比率 40%)は、授業内実習での実施状況および授業外でのデータ収集活動を総合的に評価する。小テスト(評価比率 30%)は、結果をフィードバックする。期末課題となるレポート課題(評価比率 30%)は、作成方法に基づき、基礎知識と測定データを踏まえて論理的に作成できているかを評価する。レポート回収はポートフォリオにて実施する。採点結果は概ね 5 段階評価した上で結果をフィードバックする。レポート課題は、内容によっては再提出を求める場合がある。							
授業の概要							
本授業は、ヒトの形態(長育、量育、周育)や機能(体力・運動能力)の測定方法について実践を通じて学ぶ。学生自身が被検者と検者の両方の立場として各種測定を行い、得られたデータを基本的な統計手法により評価する方法を学ぶ。また、基礎知識を踏まえて得られたデータについて自分なりに考察することを学ぶ。 本授業では、受講生をグループに分け、ディスカッションを行う場合があり、グループで協力して取り組みを進めるものとする。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない 参考書：「健康・スポーツ科学のためのやさしい統計学」 出村慎一・山次俊介(杏林書院) 指定図書：特に指定しない							
授業外における学修及び学生に期待すること							
・講義科目ではあるが、測定の実線や演習を伴うため、出席が重要である。 ・測定日は、運動着、室内シューズを準備する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	講義の進め方	予習：シラバス・受講規則を熟読し把握する。(60分) 復習：これまで自身が経験した形態・体力を実際に測定し、記録する。(120分)
2	新体力テストとその活用	講義：新体力テストの内容、子どもの体力について	予習：新体力テストの調査。(60分) 復習：子どもの体力に関する問題を調べ、記録ノートに記録する。(120分)
3	形態計測	講義：身長、体重、体脂肪率、身体各部周径について 実習：新体力テストの内容および形態計測	予習：形態計測法の調査。(60分) 復習：各測定の方法、特徴、方法などを記録ノートに記録する。(120分)
4	身体組成の評価について	講義：身体組成の方法論や算出方法について	予習：身体組成の測定方法を調査(60分) 復習：身体組成測定の各種測定法について、長所と短所を記録する。(120分)
5	基本統計量	演習：基本統計量(平均値、標準偏差など)の算出	予習：基本統計量の調査。(60分) 復習：形態計測、新体力テストで得たデータの基本統計量を求める。(120分)
6	各種測定項目①	講義：筋力・瞬発力・筋持久力・全身持久力・柔軟性について	予習：各種測定項目の調査。(60分) 復習：本時の講義を復習し、自身の競技で活用できる方法を検討する(120分)
7	各種測定項目②	講義：調整力・敏捷性・平衡性・協応性・巧緻性・緩衝性・予測性について	予習：各種測定項目の調査。(60分) 復習：本時の講義を復習し、自身の競技で活用できる方法を検討する(120分)
8	高齢者の体力テスト	講義：年代のステージにおける課題をもとに、体力テストの項目の違いを理解する	予習：高齢者の測定項目の調査。(60分) 復習：本時の講義を復習し、測定方法を習得する(120分)
9	小テスト グループワーク	小テスト グループワーク(自分の競技に必要な測定項目を検討する)	予習：これまでの講義をもとに小テストに向けて復讐を行う(90分) 復習：競技ごとのグループで検討を進める(90分)
10	体力測定の準備	講義：グループワークをもとに任意の競技に対する体力測定の準備を行う 測定項目、検者、測定用紙の決定	予習：様々な体力測定方法を調査する。(60分) 復習：実施予定の体力測定方法を確認する。(120分)
11	体力測定の実施	実習：グループワークをもとに任意の競技に対する体力測定を行う 測定および結果の入力(エクセルを使用)	予習：実施予定の体力測定方法を予習する。(60分) 復習：測定結果の基本統計量を求める。(120分)
12	フィードバックシートの作成	講義：測定したデータをもとにフィードバックシートを作成する。(エクセルを使用)	予習：測定結果のフィードバック方法の調査(60分) 復習：フィードバックシートを作成する(120分)
13	被検者へのフィードバック方法	講義：作成したフィードバックシートをもとに被検者へフィードバックする方法を学習する。(エクセルを使用)	予習：測定結果のフィードバック方法の調査(60分) 復習：フィードバック方法を習得する(120分)
14	レポート作成①	演習：レポート課題の作成 (参考文献の検索および引用について)	予習：引用文献と参考文献の調査(60分) 復習：レポート課題の作成。(120分)
15	レポート作成②	演習：レポート課題の作成 ◎レポート課題の提出 (本授業終了1週間後の18時までに提出)	復習：レポート課題の作成。(180分)